

# 京都教区時報

京都教区広報委員会  
(編集長 村上透磨)

京都教区本部事務局  
京都市中京区  
河原町通三条上る

TEL 075-211-3025

FAX 075-211-3041

honbu@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

2021年 司教年頭書簡を受けて

## 第5回 救いの約束と信仰の喜び

今年、東日本大震災・大津波から10年が経ちました。被災地では日に日に復興が目に見える形ではなされ、めまぐるしく変化しています。目に見える復興だけでなく、目に見えない心の復興には、まだまだ時間がかかるかもしれませんが、被災地を忘れることなくお祈りを続け、関心を持ち続けてくださることに感謝したいと思います。

私自身も、仙台教区に派遣されて10年を迎えようとしています。岩手県の大船渡教会、仙台市中心部の諸教会、そして、現在の第5地区（石巻、古川、塩釜、東仙台、北仙台、西仙台）の6教会の担当と任地は変わりましたが、私に強烈なインパクトを与えた大船渡教会での体験を忘れることはありません。

津波の被害で更地となった周囲に囲まれて、真っ暗な中で日々を過ごし、ある日設置された自動販売機の明るさに心がほっとする体験もしました。また、大震災を体験し、家族や友人たちを失いながらも、懸命に毎日を生きる人たちとの出会いのひと時も体験しました。これはある意味、教会が「野戦病院」として、人々の中にあり続けた体験だったのかもしれない。

そして、昨年来のコロナ禍にあって、再び教会は「野戦病院」として、存在し続けるように招かれているのだと思います。仙台教区でも公開ミサ



大船渡教会での黙想会 (2018年)

の中止や、聖体拝領だけの式を行ってきました。本稿執筆時点では再び感染者数が急増し、二年連続で聖週間典礼ができず、復活祭ミサも公開ミサも中止され、さみだれ式にえられる信者さんたちに聖体拝領だけを行っています。でも、この出来事を通して、司祭を含めて信者一人一人が、信仰とは何なのか、教会に集まるとはどういうことなのか、ご聖体をいただくとはどういう意味があるのか、などについて、再び考え始めたのだと思います。

そこで改めて気づくことは、私たちがいただいているのは希望の福音、救いの約束であること、そして、「いのち」や「生きること」への全面的な肯定の信仰なのだと思います。この信仰の喜びをどんな時にも、たとえ困難や苦しみがあったとしても、持ち続けたいと思います。

京都教区司祭 森田直樹

(仙台教区派遣中)

6  
2021

## 2020年度カトリック京都司教区 決算報告

平素より、京都司教区のためにご支援ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。今年も新型コロナウイルス感染症の感染拡大でいろいろな教会活動が滞っており、皆様もご苦労しておられることと思います。

さて、2020年度（2020年1月1日～12月31日）の、京都司教区の宗教法人本部の会計の決算について、主な点をご説明させていただきます。

### 教区本部会計について

当年度の決算は収益計413,821千円、費用計は387,504千円で、当期正味財産増減額は、26,317千円のプラスとなりました。なお費用のうち130,000千円は、将来の福音宣教活動のために、福音宣教基金とさせていただきます。

#### 1. 収益について

①小教区からの納付金（A）～（D）は総額で64,753千円でした。コロナ禍の影響で公開ミサも中止されたにもかかわらず、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

納付金Bを7か月にわたり、減免させていただきましたこともあり、2019年度よりは、52,860千円の減額となりました。

②収益事業損益は、河原町教会敷地内ホテル再建設に係る土地借地権者からの新規地代等で378,075千円をいただき、税金等を差引し、242,495千円でした。

#### 2. 費用について

①神学生養成費は通常の負担の他、神学生2名の経費を計上しております。

②人件費は昨年に比べ13,448千円の減額です。本部職員2名の退職によります。

### 終わりに

2020年度収益は黒字決算となりましたが、今後、新カトリック会館の建設等で大きな出費が見込まれます。

今年も、まだコロナ禍の中であって、教会の諸活動についても不透明な状況です。しかし、このような社会で多くの人々が生活に大きな困難を抱えており、教会として、わたしたちがどのように福音宣教の使命を果たしていくことが出来るのか、その真価が問われているときだと思います。今までの内向きな、儀式中心で、教会護持中心のあり方から、わたしたちが脱却していけるかどうかにかかっているように思います。今後とも、皆様のお祈りとご協力をよろしくお願い致します。

2021年6月1日

カトリック京都司教区

本部事務局長 北村善朗

## 京都司教区 2020年度 教区本部決算報告書

自2020年1月1日 至2020年12月31日

(単位：千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
<b>I 経 常 費 用</b>	255,879	<b>I 経 常 収 益</b>	155,057
1 福音宣教活動費	44,061	1 納付金収入	76,775
祭儀費	112	司教司牧納付金	768
教育養成費	1,710	司祭司牧納付金	5,072
神学生養成費	7,693	小教区納付金(A)	23,749
諸委員会活動費	1,167	小教区納付金(B)	28,466
教区事業活動費	31,281	小教区納付金(C)	11,349
諸活動団体補助金	284	小教区納付金(D)	1,189
アジア交流費	0	福音宣教協力金	2,662
済州交流費	278	建設分担金収入	3,520
国際交流費	511		
会議費	618		
図書費・諸会費	189		
福音宣教企画	218	2 福音宣教企画室	14
2 管理費	198,860		
人件費	97,893		
維持管理費	5,723		
事務管理費	15,134		
減価償却費	80,110		
3 寄付金支出	150	3 寄付金収入	40,272
		一般寄付金収入	40,272
		その他の寄付金	0
4 特定献金支出	5,569	4 特定献金収入	5,569
5 墓地勘定支出	7,239	5 墓地勘定収入	8,289
墓苑管理・整備費	7,180	墓苑使用料	2,570
(神の園)管理祭儀費	59	墓地祭儀収入	5,603
		(神の園)使用料収入等	116
		6 雑収益	24,138
		預金利息収入	23,388
		雑収入	750
<b>II 特別勘定支出</b>	427	<b>II 特別勘定収入</b>	11,370
一万匹の蟻	427	一粒会	10,250
		アジア基金	296
		済州基金	217
		一万匹の蟻	427
		国際協力基金	180
<b>III 経常外費用</b>	131,198	<b>III 経常外収益</b>	4,899
固定資産売却損	218	固定資産売却益	4,439
投資有価証券売却損	0	投資有価証券売却益	460
墓地積立金繰入	0	墓地積立金取崩益	0
固定資産除却損	120		
特別積立金繰入	0	<b>IV 収益事業損益</b>	242,495
雑損	860		
福音宣教基金	130,000		
<b>費用計</b>	387,504	<b>収益計</b>	413,821
当期正味財産増減額	26,317		
<b>費用合計</b>	413,821	<b>収益合計</b>	413,821

ありがとう  
ロドリゲス神父様



忍者と芭蕉の城下町へ

4月14日、6月で京都教区を離れられるロドリゲス神父様(メリノール宣教会)に会いに、春爛漫の伊賀上野を訪れました。



忍者電車で伊賀上野に到着

教会に着くと聖書の分かち合いの時間で、神父様は集っていたお一人お一人のお名前を紹介してくださいました。

救世主国での5歳の決断

ロベルト・ウィルフレド・ザバラ・ロドリゲス神父様は1958年2月14日に

エルサルバドルで生まれました。エルサルバドルは漢字で書くと「救世主国」です。すでに5歳の時には神父になると決めていました。白い大きなタオルを羽織って神父様のまねをし、兄弟姉妹を信者役にして、よくミサごっこをして遊んでいました。成績はいつもトップの優等生で、お父様は弁護士か軍人にしたかったようですが、司祭になる夢は変わっていませんでした。教会活動やボーイスカウトに積極的に取り組み、18歳で教師となりカトリック学校の教壇に立ち、22歳の時にはイエズス会への入会審査に合格し、パナマの修練院に行くことが決まっていました。

内戦のためアメリカへ

ところが、エルサルバドルでの内戦が激化。修練者になることさえすっかり忘れるほどの混乱の中、アメリカに移住しました。生活のために様々な仕事をしていましたが、あるとき見かけたメリノール会の雑誌が、神父様の心を大きく動かししました。餓えや病気で困っている貧しい人たちのために、自分のすべてを捧げたいという気持ち強く抱いたそうです。その後カナダに移住したとき、メリノール会司祭との出会いに恵まれ、入会を決意しました。神学生の時に2年間を過ごしたフィリピンで、イエス様を人々に

に伝えたいという思いはますます深まってきました。

叙階されフィリピンの教会で働く

1995年6月10日、ニューヨークのメリノール会本部で司祭に叙階され、フィリピンのミンダナオの教会での司牧が始まりました。大忙しの毎日で休む暇はまったくなく、教会はいつも多くの人で溢れていました。「まるで駅のようにだつた」と回想しながら、当時の体験を語る神父様の顔が、いきいきと輝き出します。やがてアメリカにもどり、ロサンゼルス地区本部で働き、平日は事務局で仕事、週末は資金集めや召命募集のために、あちこちの教会を奔走する日々が続きました。



上野教会聖堂にて

### 来日し津教会へ着任

こうして10年間ほど組織を支える勤めを果たし、宣教師としての仕事から離れていきましたが、ある時、上長から日本への派遣を告げられました。最初に思ったのは日本語が難しいという不安でしたが、もとより与えられた仕事に自分を捧げる覚悟はできていました。2009年5月に来日。果物があまりに高いのにびっくりしつつ、東京で日本語の勉強をしながら近隣の教会のミサを手伝いました。そして2012年8月に津教会に着任され、京都教区での活躍が始まりました。その後、大津教会を経て、現在は名張教会におられます。日本の教会には多くの外国人が集まり、そこに本当のキ



上野教会の皆さんと

リストの教会の姿が現れていることを感じている一方、教会に来る日本人の若者が少ないこと、ミサ以外の活動が乏しいこと、福音宣教があまり活発ではないことが心配だともおっしゃいます。

**イエス様選ばれて**

昨年6月で司祭叙階25周年を迎えられた神父様ですが、辛いことはあっても司祭をやめたいと思ったことは一度も無かったそうです。5歳の時から力強くイエス様に捕らえられていた神父様にふさわしく、好きな聖書の言葉をお聞きすると、即座に、「あなたがたが私を選んだのではない。私があなたがたを選んだ」(ヨハネ15・16)というイエス様の言葉をお答えくださいました。最後に日本の皆さんへのメッセージをお聞きしました。「イエス様が自分の救い主であることを受け入れてください。イエス様のように生きてください。神様の祝福が皆様にありますように」。

**新しい任務へと旅立つ**

今回、神父様はスペイン語で、そして、時折日本語でお話してくださいました。長時間におよぶインタビューに快く応じてくださった神父様と、通訳をしてくださったサカタハルエ様に感謝申しあげます。



インタビューのようす  
通訳のサカタハルエさんと

上野教会で信徒の皆さんと接してられるお姿から、神父様の豪快かつ繊細なお人柄を感じ、キリストに自分を捧げたという幼少の頃からの願いが、自然に溢れ出ているのが伝わってきました。今後はアメリカで、召命担当の任務に就かれる予定です。日本での12年間のご奉仕に感謝し、これからの活躍をお祈り申しあげます。

広報委員会担当司祭 菅原友明

\*\*\*\*\* 青少年委員会より \*\*\*\*\*

**高校生のみなさん、オンライン登録をよろしくお願ひします！**

コロナウイルスのために集うことができない状況ですが、オンライン高校生会を実施していく予定です。第1回を3月26日に開催し、参加者9名と担当司祭3名がZoomでつながることができました。

オンライン登録をしていただければ、毎回自動的にZoomの招待メールをお送りいたします。対面行事が可能になった場合等の連絡もさせていただきます。下記アドレスに氏名、学年、教会名、連絡先電話番号をメールするだけで登録完了です。各回の参加は自由ですので、まずは登録だけでもよろしくお願ひします。なお前回参加者はすでに登録済です。

「青春の日々にこそ、あなたの造り主を覚えよ」(コヘレト12:1)。

リモートで信仰の仲間と共に、よい分かち合いのひとつを過ごしましょう！

登録メール送信先 sugawara@kyoto.catholic.jp

高校生会担当司祭

ホセ・アントニオ・C.

ホセ・A.ゴンザレス

菅原 友明



**中学生会 2021年春のオンラインの集い（3/29）報告**

**テーマ：祈りってなあに？ ～神様とつながろう～**

2020年冬と同様、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今年の春もオンラインでの開催となりました。また、例年であれば冬合宿にしていた卒業式ができなかったため、今回は新高校1年生にも参加してもらって、卒業式をしました。

分かち合いでは、この1年でどんな時にお祈りをしていたか、神父様の祈りについての講話を聴いて何を思ったか、これからどんなお祈りをしたいかを分かち合いました。卒業生たちは、写真を見ながらこれまでの中学生会でやってきたことを思い出したり、高校生会へ向けての思いをお互いに共有したりと、自由な時間を作りました。そして、その後の卒業式では、まだ合宿を経験していない後輩たちへ、熱いメッセージを送ってくれました。

オンラインなので、どうしても発言のしにくさは感じましたが、その中でも中学生たちは意味のある交流ができたと思いますし、このオンラインの集いに参加してよかったと思ってもらえたら嬉しいです。参加してくれた中学生、今回に向けて準備してくださった保護者の皆さまや小教区の皆さま、本当にありがとうございました。また会いましょう！

中学生会リーダー 西院教会 栗井 幹

## 2020年12月8日～2021年12月8日は「ヨセフ年」

トマのじぶやまき  
「神を観想する人 ヨセフ」



聖ヨゼフ修道会  
本部修道院のヨセフ像

婚約者マリヤの身ごもりを知ったヨセフは、正しい人であったので：ひそかに離縁しようとした。

(マタイ1・18～19参照)

決心の理由は、マリヤの身ごもりに疑いを持たれたのか、何か神秘を感じとられて謙虚に身を引こうとされたのかはわかりません。でも、その場合、意思と理解、優しさをもって人の中に行われる神のみわざを見つめたいと思いません。もし、ヨセフの優しさとしてとらえるならば、神はずばらしい答えをくださいます。それは、ヨセフは、夢見る人、神の啓示に心開く人であることを表しています。

そして、その神の出来事に心を留めて考え合わせる人、祈りと観想の人、神の出来事の「コト」と、みことばの「コト」に心開く人。それはヨセフの人間性と、神の人としての「神との交わり(つながり)」の神秘を輝かすことになります。

私たちもヨセフのように、神のひとり子キリストとその母マリヤを、そして父に在す神を観想し続けるものでありますように。

広報委員会担当司祭 村上透磨

新学期が始まりましたね。

多くの方が、新しい環境への期待と不安を抱えているのではないかと思います。私もそのうちの1人です。新しいクラスや今学期から始まるゼミのことを思い、とてもワクワクしていると同時に、多くの学生が集まる大学で授業を受けることや、通学するために満員電車に乗ることを不安に感じています。

また、春は気温も心地良く「遠い所に出かけたい！何か新しいことにチャレンジしたい！」という気持ちになりますが、今年も昨年同様に、そのようなことはあまり出来ないと思います。本当に寂しいです。

ですが、私は、行動範囲が狭くなった代わりに、視野を広く持つことが出来るようになったと感じています。外出できなくても家で、今まで苦手でしていなかったビデオ通話や工作などに興味を持ちはじめました。そして、苦手だと避けていたことが本当はとても楽しいことだったと気づくことが出来ました。

みなさんも、楽しみが減り、辛く感じると思いますが、今だからこそ出来る新しい楽しみを見つけて頑張りましょう！

運営委員/唐崎教会 池田瑠智亜

つながりネットワーク 探めよう！ふたご=カーネーション

### 京都カトリック青年センター

青年センターは、教区を超える青少年活動について  
京都教区の窓口となるとともに、京都教区内の各教会、  
青年の各諸活動をバックアップするための機関です。



← 青年センターのHPも見てね！

青年センターあんでな

## 大塚司教の6月のスケジュール

新型コロナウイルス感染症の影響のため、スケジュールが変更される場合がありますので、最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。



## 6月のお知らせ

## 教 区

## 聖書委員会

## オンライン聖書講座

## 「救い・いのち・喜び」

5～11月まで全12回配信

全講座を通しての申込は終了しましたが、単発での受講は可能です。

詳しくは京都教区のHPをご覧ください。問合せは聖書委員会まで。

- ・メール/seisho@kyoto.catholic.jp
- ・TEL/075(366)6609

## 広報委員会

お知らせに載せたい情報は、原稿締切り日までに教区本部事務局宛

- ・メール/honbu@kyoto.catholic.jp
- ・Fax/075(366)6679

発信者のお名前を明記の上お寄せください。

※ 8月号の原稿締切り日は6月21日㊤です。

## ヌヴェール愛徳修道会 日本創立100周年

1921年5月8日、神戸港に到着した7人のフランス人シスターが日本の地に種を蒔いて、100年が経ちました。

新型コロナウイルスによる状況を踏まえ、内々でのお祝いをするようになります。

これまでのお祈りにあらためて感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ヌヴェール愛徳修道会日本地区  
地区長・二宮昌子 姉妹一同

## 諸 団 体

## 京都カトリック混声合唱団

練習：13日㊤ 14:00 洛星宗教研究館  
26日㊤ 18:00

ミサ奉仕後 河原町教会聖堂

現在活動休止中。再開時、団員には連絡します。

問合せ：075(951)4283 則武 隆

## コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練習：10日㊤・24日㊤ 10:00

河原町教会2階楽廊

中止の場合は連絡網にて連絡します。

問合せ：075(701)3303 岡田久美

## カトリック京都働く人の家(九条教会内)

定例会：13日㊤ 15:30～17:30

対象：15歳～35歳の方 どなたでも

問合せ：090(8207)1831 瀧野正三郎

## 聴覚障がい者の会

新型コロナウイルス感染症蔓延のこのような緊迫した状況を考慮し、担当司祭と相談の上、収束が見通せるようになるまで当面の間、当活動を休会します。

問合せ：TEL・Fax/075(723)1135 傳 裕子

## 心のともしび ラジオ番組案内

(全国34局で放送)

KBS京都 ㊤～㊤ 朝5:55

㊤ 朝5:15

ラジオ関西 ㊤～㊤ 朝5:00

㊤ 朝6:05

6月のテーマ「いつくしみ」

点訳版「京都教区時報」〈無料〉ご希望の方は『カ  
障連大阪フレンドリー点字部』嶽崎 (たけざき)  
裕子さんまでお申込みください。

Tel・Fax/079 (431) 8601

